



## 当局 合意追求表明するも 求めた「白紙撤回」は折り合わず



5月23日、市職労は労使協議をスタートさせる総務部長交渉を行いました。提案の撤回を求める市職労に対し、当局は、労使合意の追求については歩み寄りの姿勢を見せたものの、提案に誤解や説明不足があれば丁寧に説明していくといった内容に終始しました。

私たちが求めた、財政を健全化していくための意欲を示す提案に対しては、市長に伝えていきたいとの回答がありました。一方で、財政圧迫の原因については、想定を超える雪害が起因しているとの回答であり、今後も同様の手法が繰り返される危機感は解消できないままでした。



組合：提案撤回し、誠実な労使協議の上で仕切り直しを！

当局：提案理由が誤解を招いたのであれば説明していく。

市職労は再度、「合意のないまま給料カットを強行した場合、福井市が受ける損失は計り知れない。今回の提案は白紙撤回し、絶対に労使合意を迫りすべき。」と訴えました。

「提案理由が誤解を招いたということであれば回答をだせるが、撤回するかしないかということであれば持ち帰る。」という当局に対して、「本当に労使合意を追求するのであれば、一旦撤回した上で仕切り直すべきではないか。組合員は後ろを向いてしまっている。再び前を向くために、回答では市長からの誠意あるメッセージを求める。」と伝えて交渉を締めくくりました。

当局からの回答は後日提出される見込みです。市職労は回答を待って、今後あらゆるタイミングで、何度でも再交渉に当たる覚悟で最後まで粘り強くたたかっています。